

# 人工知能の医療検査への応用事例と関連法規制

1名分料金で  
2人目無料

【LIVE配信】  
【アーカイブ配信】

セミナーURL <https://www.rdsc.co.jp/seminar/2407104>

◆日時:2024年07月08日(月)12:30~16:30

【アーカイブ配信:07/9~7/16(何度でも受講可能)】

◆会場:自宅や職場など世界中どこでも受講可

◆聴講料:1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき**46,200円(税込)**

・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円(税込))**

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師:笹嶋グローバルコンサルティング 代表 笹嶋 政昭 氏

1. デジタルヘルスの概念、目的、方向性
2. 人工知能の歴史と世代分類
3. 最新の健康管理技術とアプローチ
  - 3.1. デジタルヘルスケア
  - 3.2. モバイル・テレメディシン・システム
  - 3.3. 具体的な事例
4. プログラム医療機器
  - 4.1. 医療機器プログラムとプログラム医療機器
  - 4.2. SaMD
  - 4.3. DTx
5. デジタルヘルスの基盤となる医療データについて
  - 5.1. PHR
    - 国が考えるPHR
    - PHRの目的別分類
    - PHRで収集すべきデータ
    - IoT活用によるPHR取得の流れ
    - 電子健康記録(EHR)の導入
    - EHRとPHRの将来
  - 5.2. 療機器におけるリアルワールドデータの活用について
    - リアルワールドデータの位置
    - RWDの定義の一例
    - RWDの具体例
    - RWDとRWEの関係
    - RWDの活用可能性
    - 国内の大規模データベース例
  - 5.3. 医療ビッグデータ
    - 医療ビッグデータの利活用事例
    - AI技術加速の現状
    - 日本のヘルスケア政策の課題
  - 5.4. デジタルヘルスデータ(医療ビッグデータ)の安全性確保に関する規制
    - 三省ガイドライン
    - 医療情報システムの安全管理に関するガイドライン
    - 医療情報を取り扱う情報システム・サービスの提供事業者における安全管理ガイドライン 第1.1版
6. AI応用医療アプリケーションの事例
  - 6.1. 既存AIの応用例
    - AI医療画像診断参入開発企業
    - AI画像解析開発事例
    - AI画像解析システム
    - CADの利用形態
    - CADeとCADxの事例
    - AIを活用した医療機器
  - 6.2. AIを応用したリスクの予測技術
    - 会話型認知症診断支援プログラム
    - メタボリックシンドローム回避のためのアプリケーションシステム
    - AIによる新興感染症出現予測
  - 6.3. 高速通信技術とAIの組み合わせ
    - テレヘルスケアとワイヤレスモニタリング
    - 最新のICT応用診断機器
- 6.4. ウェアラブルデバイスとの組み合わせ
  - 各種事例
- 6.5. AIの個別化医療への応用
  - パーソナライズドメディシン
  - 健康増進行動の促進と課題
7. 医療向け生成AIの応用
  - 7.1. 生成AIについて
    - 従来のAIと生成AIの基本的な違い
    - 生成AIの特徴と課題
    - 代表的なLLM系譜
    - 生成AIの活用
    - 生成AIの医療における具体的なインパクト事例
    - 想定される生成AIのデジタルヘルスアプリケーションの各種事例
  - 7.2. AI応用医療機器の課題
    - 深層学習とアルゴリズムのブラックボックス化
    - 医療情報とAIの課題
    - ブラックボックス化と医療機器開発
    - AI技術対応医療機器の薬事的取り扱い
    - AIの安全性確保にかかる方策
8. 医療機器プログラム関連規格
  - 8.1. IEC規格とその表題
  - 8.2. 医療機器実装にかかる規格の役割
  - 8.3. 単体ソフトウェアに関する規格
  - 8.4. ソフトウェア安全クラスフロー
  - 8.5. ソフトウェア安全クラス考え方
  - 8.6. ソフトウェアライフサイクルプロセス
  - 8.7. QMSとIEC62304の関係
  - 8.8. ソフトウェアバリデーション
  - 8.9. 単体ソフトウェアバリデーション
  - 8.10. 医療機器プログラム要求事項
9. プログラム医療機器の流通提供形態
  - 9.1. プログラム流通提供形態各種事例
10. プログラムの医療機器該当性
  - 10.1. プログラム医療機器の概念
  - 10.2. 医療機器該当性
  - 10.3. 非医療機器に分類されるもの
  - 10.4. 国際的リスク分類
  - 10.5. プログラム医療機器薬機法上の分類
  - 10.6. 医療機器のクラス分類
  - 10.7. 医療機器対応窓口
11. プログラム医療機器の薬事申請
  - 11.1. 変更計画付き申請
  - 11.2. AI応用医療機器
  - 11.3. 医療機器プログラムのコンセプト、機能の実体に関する事項
  - 11.4. 医療機器プログラムの評価に関する事項
  - 11.5. 承認後の医療機器プログラムの変更等に関する事項
12. プログラム医療機器の医療保険対応
  - 12.1. プログラム医療機器における保険の取り扱い

### 【LIVE配信セミナーとは?】

- ・本セミナーは「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Webブラウザから参加するかの2種類がございます。ZOOM WEBセミナーのはじめかた(<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。
- ・お申込み後、受理のご連絡メールをさせていただきます。一部メールが通常セミナー形式(受講券、請求書、会場の地図)になっておりますが、LIVE配信のみのセミナーです。
- ・お申込み後、接続テスト用のURL(<https://zoom.us/test>)から「ミーティングテストに参加」を押していただき動作確認をお願いします。
- ・後日、別途視聴用のURLをメールにてご連絡申し上げます。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。
- ・セミナー資料は郵送にて前日までには、お送りいたします。タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- ・ご質問については、オープンにできるご質問をチャットにご記入ください。個別相談(他社に知られたくない)のご質問は後日メールにて講師と直接お願いします。

『人工知能【WEBセミナー】』セミナー申込書※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒LIVE アーカイブ

|       |     |
|-------|-----|
| 会社・大学 |     |
| 住所    | 〒   |
| 電話番号  | FAX |

| お名前 | 所属・役職 | E-Mail |
|-----|-------|--------|
| ①   |       |        |
| ②   |       |        |

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

### ● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡いたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>